



日立ソリューションズ 竹田 広光社長



2021年度は中期経営計画最終年度になるため得意の「モバイル」「セキュリティ」「AI」「働き方改革」の4領域を軸にしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の支援を一層強化するとともに、成長領域を選別し注力してきた各種施策の集大成にしていく。

事業部設け企業のDX総合支援

2021年度は中期経営計画最終年度になるため得意の「モバイル」「セキュリティ」「AI」「働き方改革」の4領域を軸にしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の支援を一層強化するとともに、成長領域を選別し注力してきた各種施策の集大成にしていく。伴うモバイルやセキュリティ関連システムの構築支援やDXを実現する案件などは堅調に推移。特にテレワークを活用した働き方改革への取り組みはこの一年でさらに進み、社内実践も始めた。在宅勤務によるコミュニケーション不足の問題を昨今はセキュリティ強化を目的に別々に展開していた4部門を集約しデジタルトランスフォーメーション事業部としてスタートした。一体で展開することで企業のDXを総合的に支援していきたいと考えている。テレワークが中心になってくる昨今はセキュリティも重要だ。日立製作所グループでセキュリティを強化しており、当社はセキュリティ診断やトレーニングなどの領域を前面に展開していく。セキリティ人財は21年度末までに1000人を目標としようとしている。現在約630人まで拡大した。セキリティ専門技術者(ホワイトハッカー)も12人になり、今後強化する考えだ。人工知能(AI)は今あるものにAIをプラスする「AIプラス」をコンセプトに取り組んできた。現在はさまざまな商材やソリューションにAIを組み込み、付加価値を高めている。AI人財の育成も進めており、今年度上期中には1000人を超えそうだ。今年度は、次の成長に向けた事業創出に着手した。新事業創出を目指す部門と技術支援をする部門を新設し、新入社員を含めた専任部隊で新事業の立ち上げに取り組む。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。